

●薬液仕様

型 式		TYPE-1				TYPE-2		TYPE-3	
		251	252	253	254	751	752	753	754
標準透過水量 (L/h)	25℃時	200	400	600	800	1,100	2,100	3,100	3,800
排水回収システム		－	－	－	－	標準内蔵	標準内蔵	標準内蔵	標準内蔵
RO 膜 (本)	4ｲﾝﾁ 常温膜仕様	1	2	3	4	－	－	－	－
	8ｲﾝﾁ 常温膜仕様	－	－	－	－	1	2	3	4
排水回収膜	8ｲﾝﾁLF 膜	－	－	－	－	1	1	2	2
原水加温ヒータ (kW)	7℃-25℃	10	15	25	30	40	70	110	120
プレフィルタ (mm/本)	10μ	750×1				750×1		750×3	
軟水装置樹脂量 (L)		42				60		90	
カーボンフィルタ (mm×本)		750×3				750×5		750×8	
原水タンク (L)		100				100		150	
原水ポンプ (kW)	インバータ仕様	0.74				2.2		2.2	2.9
RO ポンプ (kW)	インバータ仕様	3.0				4.0		5.5	
回収 RO ポンプ (kW)	インバータ仕様	－				3.0		4.0	
送水ポンプ (kW)	インバータ仕様	0.74×2				0.74×2		0.74×2	
RO 水タンク (L)	四角錐形状	137				137		205	
UV 殺菌灯 (W)	浸漬型	60				60		60	
寸法 (W×D×H)		1,320×1,020×1,800				1,670×1,020×1,800		2,620×1,020×1,800	
キャビネット数		2				3		5	
製品重量 (kg)		810	830	850	870	1,100	1,160	1,630	1,670
運転重量 (kg)		1,240	1,260	1,290	1,310	1,600	1,680	2,480	2,530
電源 (kW) 50/60Hz	3φ200V	5.22				10.68		13.18	13.88
	ブレーカ容量	50AF/50A				100AF/60A		100AF/100A	
	1φ100V	1.0				1.0		1.0	
	ブレーカ容量	30AF/10A				30AF/10A		30AF/10A	
接続配管 (A)	原水入口	25×1				25×1		32×1	
	送水出口	20×2				20×2		25×2	
	排水出口	32×1				25×1, 32×1		32×2	
原水加温方式	電気ヒータ方式 (標準仕様)・温水直投入方式・ボイラ循環方式・熱交換方式								

●薬液仕様 (排水回収システムなしの場合)

型 式		TYPE-2		TYPE-3	
		751	752	753	754
標準透過水量 (L/h)	25℃時	1,100	2,100	3,100	3,800
RO 膜 (本)	8ｲﾝﾁ 常温膜仕様	1	2	3	4
原水加温ヒータ (kW)	7℃-25℃	40	70	110	120
プレフィルタ (mm/本)	10μ	750×1		750×3	
軟水装置樹脂量 (L)		60		90	
カーボンフィルタ (mm×本)		750×5		750×8	
原水タンク (L)		100		150	
原水ポンプ (kW)	インバータ仕様	2.2		2.2	2.9
RO ポンプ (kW)	インバータ仕様	4.0		5.5	
送水ポンプ (kW)	インバータ仕様	0.74×2		0.74×2	
RO 水タンク (L)	四角錐形状	137		205	
UV 殺菌灯 (W)	浸漬型	60		60	
寸法 (W×D×H)		1,320×1,020×1,800		2,220×1,020×1,800	
キャビネット数		2		4	
製品重量 (kg)		910	970	1,430	1,470
運転重量 (kg)		1,280	1,460	2,210	2,270
電源 (kW) 50/60Hz	3φ200V	7.68		9.18	9.88
	ブレーカ容量	100AF/60A		100AF/100A	
	1φ100V	1.0		1.0	
	ブレーカ容量	30AF/10A		30AF/10A	
接続配管 (A)	原水入口	25×1		32×1	
	送水出口	20×2		25×2	
	排水出口	32×1		32×2	
原水加温方式	電気ヒータ方式 (標準仕様)・温水直投入方式・ボイラ循環方式・熱交換方式				

- Option
- RO前処理LLシステム
 - RO水限外濾過UFシステム
 - 軟水機レス仕様
 - RO水タンク以降熱水消毒システム
 - RO膜出口以降薬液消毒システム
 - 全自動薬液洗浄・消毒システム

カタログ記載の内容につきましては予告なく変更場合があります。

日本ウォーターシステム株式会社

本 社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 西野金陵ビル4F

東 京 支 店 〒351-0111 埼玉県和光市下新倉5-9-22

大 阪 支 店 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-5-12

北海道営業所 〒004-0053 北海道札幌市厚別区厚別中央三条5-7-25

東北営業所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井6-4-1

中部営業所 〒463-0072 愛知県名古屋市中区山王山2-191-1

広島営業所 〒793-0032 広島県広島市西区東観音町25-3

九州営業所 〒811-0201 福岡県福岡市東区三苫6-1-25

南九州営業所 〒892-0834 鹿児島県鹿児島市南林寺町27-4 柚木ビル2F

(株)日本ウォーターシステム四国 〒760-0052 香川県高松市瓦町2-7-14 フォルテ瓦町駅前ビル6F

製造元:株式会社タングラム 〒421-0412 静岡県牧之原市坂部110-5

●熱水仕様

型 式		TYPE-2		TYPE-3	
		751	752	753	754
標準透過水量 (L/h)	25℃時 標準 / 最大	800/900	1,600/1,800	2,300/2,500	3,000/3,300
RO 膜 (本)	8ｲﾝﾁ 熱水膜仕様	1	2	3	4
排水回収膜	8ｲﾝﾁLF 膜	1	1	2	2
原水加温ヒータ (kW)	7℃-25℃	30	60	90	110
RO 水消毒ヒータ (kW)		20		30	
プレフィルタ (mm/本)	10μ	750×1		750×3	
軟水装置樹脂量 (L)		60		90	
カーボンフィルタ (mm×本)		750×5		750×8	
原水タンク (L)		100		150	
原水ポンプ (kW)	インバータ仕様	2.2		2.2	2.9
RO ポンプ (kW)	インバータ仕様	4.0		5.5	
回収 RO ポンプ (kW)	インバータ仕様	3.0		4.0	
送水ポンプ (kW)	インバータ仕様	0.74×2		0.74×2	
RO 水タンク (L)	四角錐形状	137		205	
UV 殺菌灯 (W)	浸漬型	60		60	
寸法 (W×D×H)		1,670×1,020×1,800		2,620×1,020×1,800	
キャビネット数		3		5	
製品重量 (kg)		1,110	1,170	1,640	1,700
運転重量 (kg)		1,610	1,690	2,490	2,560
電源 (kW) 50/60Hz	3φ200V	10.68		13.18	13.88
	ブレーカ容量	100AF/60A		100AF/100A	
	1φ100V	1.0		1.0	
	ブレーカ容量	30AF/10A		30AF/10A	
接続配管 (A)	原水入口	25×1		32×1	
	送水出口	20×2		25×2	
	排水出口	25×1、32×1		32×2	
原水加温方式	電気ヒータ方式 (標準仕様)・温水直投入方式・ボイラ循環方式・熱交換方式				
熱水消毒加温方式	電気ヒータ方式限定				

●熱水仕様 (排水回収システムなしの場合)

		TYPE-3	
752	753	754	
0/1,800	2,300/2,500	3,000/3,300	
2	3	4	
60	90	110	
	30		
	750×3		
	90		
	750×8		
	150		
	2.2	2.9	
	5.5		
	0.74×2		
	205		
	60		
1,800	2,220×1,020×1,800		
	4		
020	1,440	1,470	
640	2,220	2,300	
	9.18	9.88	
0A	100AF/100A		
	1.0		
0A	30AF/10A		
	32×1		
	25×2		
	32×2		
方式：ボイラ循環方式・熱交換方式			
式限定			

- ・標準透過水量は原水温度 25℃時の目安です。
- ・本仕様は原水硬度 55mg/L、原水シリカ濃度 20mg/L、原水遊離塩素 0.5mg/L を前提としていますが、原水条件により仕様を一部変更する場合があります。
- ・製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- ・各データは参考値です。この数値を保証するものではありません。
- ・原水加温方式が電気ヒータ以外の場合、熱水消毒用として電気ヒータ用電源が必要です。
- ・詳細は弊社までお問い合わせください。

カタログ発行:2020.01

TEL.03(4321)0150(代表) FAX.03(4321)0149

TEL.048(450)3950 FAX.048(466)4313

TEL.06(6387)1104 FAX.06(6387)3241

TEL.011(796)8255 FAX.011(796)8256

TEL.022(288)3112 FAX.022(288)3113

TEL.052(799)5230 FAX.052(799)5231

TEL.082(233)9351 FAX.082(233)9357

TEL.092(605)0555 FAX.092(605)0565

TEL.099(224)8118 FAX.099(224)8110

TEL.087(832)5771 FAX.087(832)5772

TEL.0548(29)0421 FAX.0548(25)0010

透析用水作製装置



M I E series

【薬液消毒型】【熱水消毒型】

Clean
Economy
Security
Compact
Usability



目指したのは
水質とエコの融合です。

薬液消毒タイプに加え、熱水消毒タイプをラインナップ。
インバータ循環運転をベースに多様な機能を搭載し、
医療現場のニーズにお応えします。

※消毒方式は熱水・薬液の双方から仕様をご選択ください。

●全自動熱水消毒システム

- ①耐熱型 RO 膜を標準搭載
- ②消毒効率の高い「順次熱水消毒」
- ③消毒範囲をカーボンフィルタから RO 膜へと順次切り替えていくことで、短時間に優れた消毒効果を発揮します。

●熱水消毒のメリット

- ①芽胞以外の一般細菌、ウイルスを死滅また不活化できる
- ②熱の浸透力が強い、確実な効果が得られる
- ③化学物質を用いないため、薬液残留がなく安全性が高い
- ④耐性菌の心配がない

Ao 値も二タ一

薬液消毒運転B		次回送水開始待機		現在時刻 2012/12/12 12:12 (AB)				
リセット	保存データ	積算	警報	設定時間	設定値	操作スイッチ	時計変更	トレントグラフ
消毒日付	2012/12/12	2012/12/12		2012/12/12	2012/12/12			
消毒開始時刻	12:12	12:12		12:12	12:12			
消毒終了時刻	12:12	12:12		12:12	12:12			
消毒範囲	R0水タンク以降	R0水タンク以降		R0水タンク以降	R0水タンク以降			
	Ao値	Ao値		Ao値	Ao値			
カーボンフィルタ	12345	12345		12345	12345			
RO膜	12345	12345		12345	12345			
RO水タンク	12345	12345		12345	12345			
送水ライン戻り	12345	12345		12345	12345			
データクリア						←	→	12 / 12

●進化した全自動薬液洗浄・消毒システム（RO 膜消毒対応）

薬液によるRO膜消毒が簡単・確実に

全自動化によるRO膜事前洗浄+RO膜消毒機構を新たに搭載。これまで消毒が困難とされていた薬液によるRO膜の消毒がずっと身近なものになりました。

4パターンの洗浄・消毒システムをチョイス

水質汚染度、作業時間の制約などニーズに応じた選択が可能です。

- ①RO膜連続洗浄・消毒 ②RO膜洗浄
③RO膜消毒 ④RO水タンク以降消毒

また、アスピレータ注入方式により安全性向上とキャビネット内蔵化を実現しました。

●ループラインからの RO 膜連続再循環

運転 (マルチ・リサーチキュレーション・システム)

●高性能 RO 膜の搭載

●排水回収システムを標準搭載

- ① 化学物質の除去
- ② 細菌、エンドトキシンの除去
- ③ 節水によるランニングコスト削減

● PVDF 配管の採用

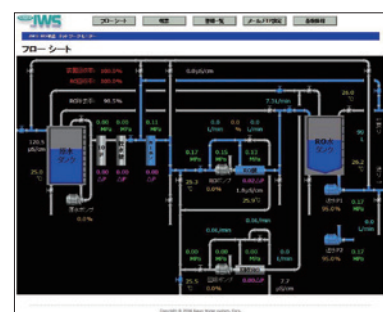
Security

●透析遅延「^{ゼロ}0」を目指します。

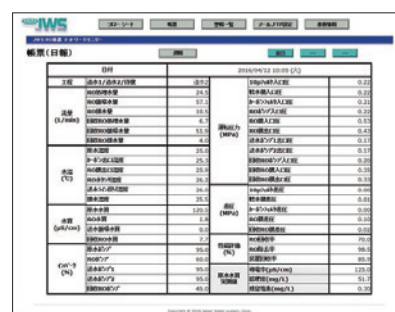
標準装備されるJモニターの
警報メール機能によって透析遅延をゼロへ



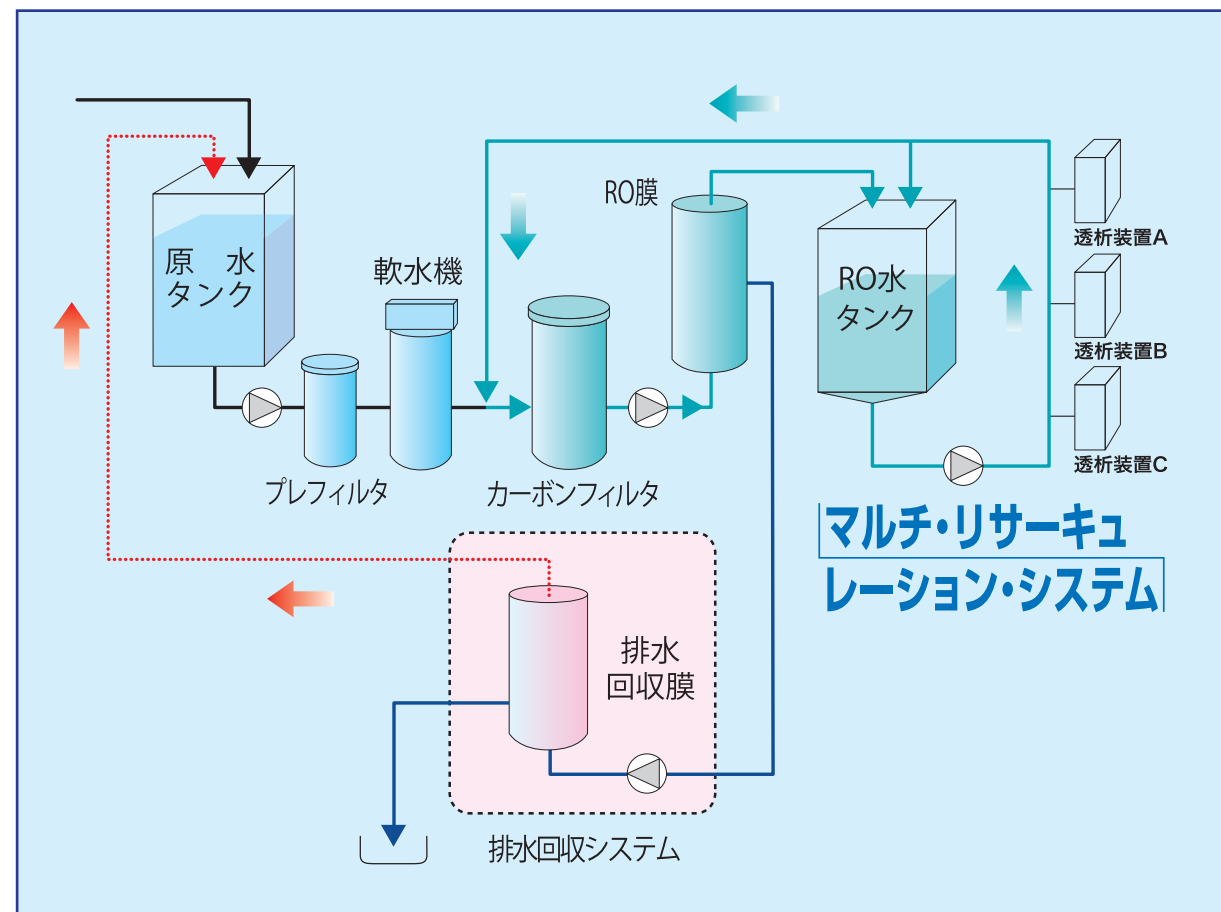
- 透析用水作製装置の警報発生時には、予め登録したお客様のメールアドレスにメールを自動送信し、警報内容を通知します。
- 警報内容がリアルタイムで確認できるため早期措置が可能となり透析遅延の減少につながります。
- 透析用水作製装置運転データの帳票を自動作成する機能によって、お客様の日常業務を軽減します。
- Wi-Fi 通信によって、タブレットや PC で、フローシート、警報情報、運転データの閲覧が可能です。
- 透析液供給装置など外部機器からの警報もメールで送信可能です。



フローシート画面

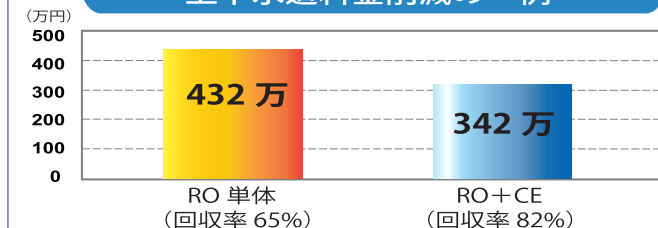


日報畫面



Economy

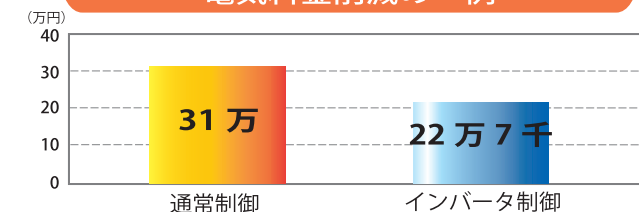
排水回収システムによる 上下水道料金削減の一例



<条件>
RO 稼働時間 10 時間 / 日 × 312 日間 = 3,120 時間 (年間)
RO 水量 30L/h 人 ベッド数 50 床
水道料金 600 円 / トン
システム回収率 RO 単体 65%、RO+CE 82%
RO フラッシング、初期排水、排水機再生などの造水運転
以外に使用される原水使用量は除外

年間およそ 90 万円の削減効果

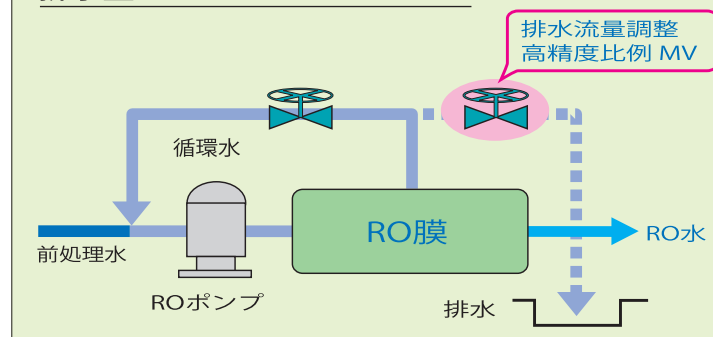
全ポンプインバータ化による 電気料金削減の一例



＜条件＞
RO 稼働時間 10 時間 / 日 × 312 日間＝3,120 時間（年間）
原水ポンプ稼働率 65% / RO ポンプ稼働率 60%
送水ポンプ（2 台）稼働率 95% 電気料金 22 円 / kwh
対象モデル MIE752-H

年間およそ 8 万円の削減効果

RO回収率自動調整機能による排水量コントロール



Compact & Usability

- コンパクト設計
- 軟水機レス仕様によるダウンサイジング（オプション設定）
- 排水回収システムの一体化内蔵
- 従来の大型キャビネットをよりコンパクト化することで
- 省スペースでの設置が可能
- RO 回収率、RO 除去率モニタ採用
- 大型カラー液晶タッチパネルの高機能化
- ワンタッチ自動バイパス（原水ポンプ RO 造水機能付）
- 初期抜水水質監視機能